

平成21年度危機管理研修会
平成21年9月17日(木)
国立感染症研究所共用第1会議室



これからの麻疹・風疹対策

国立感染症研究所 感染症情報センター
多屋 馨子



岡部信彦センター長撮影



ばば小児科
馬場宏一先生撮影

麻疹

2006年春から特に、10-20代で流行しています。

平成20年度から大きく変わった 麻疹と風疹の予防接種スケジュール



第1期
1歳

第2期
小学校
入学前
1年間:
5歳児
クラス



第3期
中学1年生
相当年齢

第4期
高校3年生
相当年齢

平成20～24年度 麻しん・風しんワクチン定期予防接種対象者

平成18年度から

第1期：生後12か月以上24か月未満の者

第2期：5歳以上7歳未満の者であって、小学校入学前の1年間

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
平成14/4/2～ 平成15/4/1生	平成15/4/2～ 平成16/4/1生	平成16/4/2～ 平成17/4/1生	平成17/4/2～ 平成18/4/1生	平成18/4/2～ 平成19/4/1生

5年間の時限措置

第3期：中学1年生に相当する年齢の者(年度内に13歳になる者)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
平成7/4/2～ 平成8/4/1生	平成8/4/2～ 平成9/4/1生	平成9/4/2～ 平成10/4/1生	平成10/4/2～ 平成11/4/1生	平成11/4/2～ 平成12/4/1生

第4期：高校3年生に相当する年齢の者(年度内に18歳になる者)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
平成2/4/2～ 平成3/4/1生	平成3/4/2～ 平成4/4/1生	平成4/4/2～ 平成5/4/1生	平成5/4/2～ 平成6/4/1生	平成6/4/2～ 平成7/4/1生

※ 平成12/4/2～平成13/4/1生まれの者および平成13/4/2～平成14/4/1生まれの者は、それぞれ平成18年度および平成19年度の第2期定期予防接種対象者でした

最新情報

- 7月17日 感染症発生動向調査週報[IDWR] 第27号(平成21年6月29日~7月5日)
- 7月17日 病原体情報 月報 (7月号) [IASR] 特集【ポリオ 2008年現在】
- 7月16日 新型インフルエンザ(ブタ由来インフルエンザ A/H1N1)
-IDSC:福岡市における新型インフルエンザ感染症の集積についての実地疫学調査~中間報告(09/7/2)
- 7月14日 インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数) [IDWR] 2008/09シーズン 第34報
- 7月14日 インフルエンザ流行レベルマップ[疾患別情報] 第27週(6月29日~7月5日)
- 7月14日 麻疹 [疾患別情報] 麻疹発生状況(速報グラフ) 2009年第27週
- 7月14日 腸管出血性大腸菌感染症[疾患別情報] 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(速報) 第27週
- 7月13日 予防接種情報 予防接種のホームページを更新しました
- 7月10日 病原体情報 [IASR] 神戸市環境保健研究所の新型インフルエンザ検査対応について(第2報-主に6月以降の状況-)

[更新履歴](#)
疾患別情報

感染症情報センターのHPでとりあげた疾患、および予防接種についてジャンル別と索引で示しています。 [詳細へ](#)

サーベイランス

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 感染症発生動向調査 週報 (IDWR) | 感染症流行予測調査 |
| 病原微生物検出情報 (IASR) | 院内感染対策サーベイランス (JANIS) |

各種情報

- | | |
|------------------|-----------|
| FETP-J 実地疫学養成コース | 全国衛生研究所一覧 |
| 研修 | 全国保健所一覧 |
| 異種移植と感染症 | EpiInfo |

フォーカス

- **新型インフルエンザ**
(ブタ由来インフルエンザA/H1N1)
- インフルエンザ
- 鳥インフルエンザ
- 麻疹
- 腸管出血性大腸菌感染症
- 百日咳
- 風疹
- 日本脳炎
- 予防接種情報
- ノロウイルス感染症

緊急情報
2012年麻疹排除 (Elimination) にむけて

2008/09シーズン
検査スタート
インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査の御願い

2009年4月
スタート
Hib (b型インフルエンザ菌) 感染症 全数調査の御願い

関連リンク

- 厚生労働省
- 検疫所 海外感染症情報
- 地方衛生研究所ネットワーク
- (財)結核予防会結核研究所
- 食品安全委員会
- WHO Geneva
- WHO WPRO
- 米国疾病対策センター CDC

麻しんに関する特定感染症予防指針

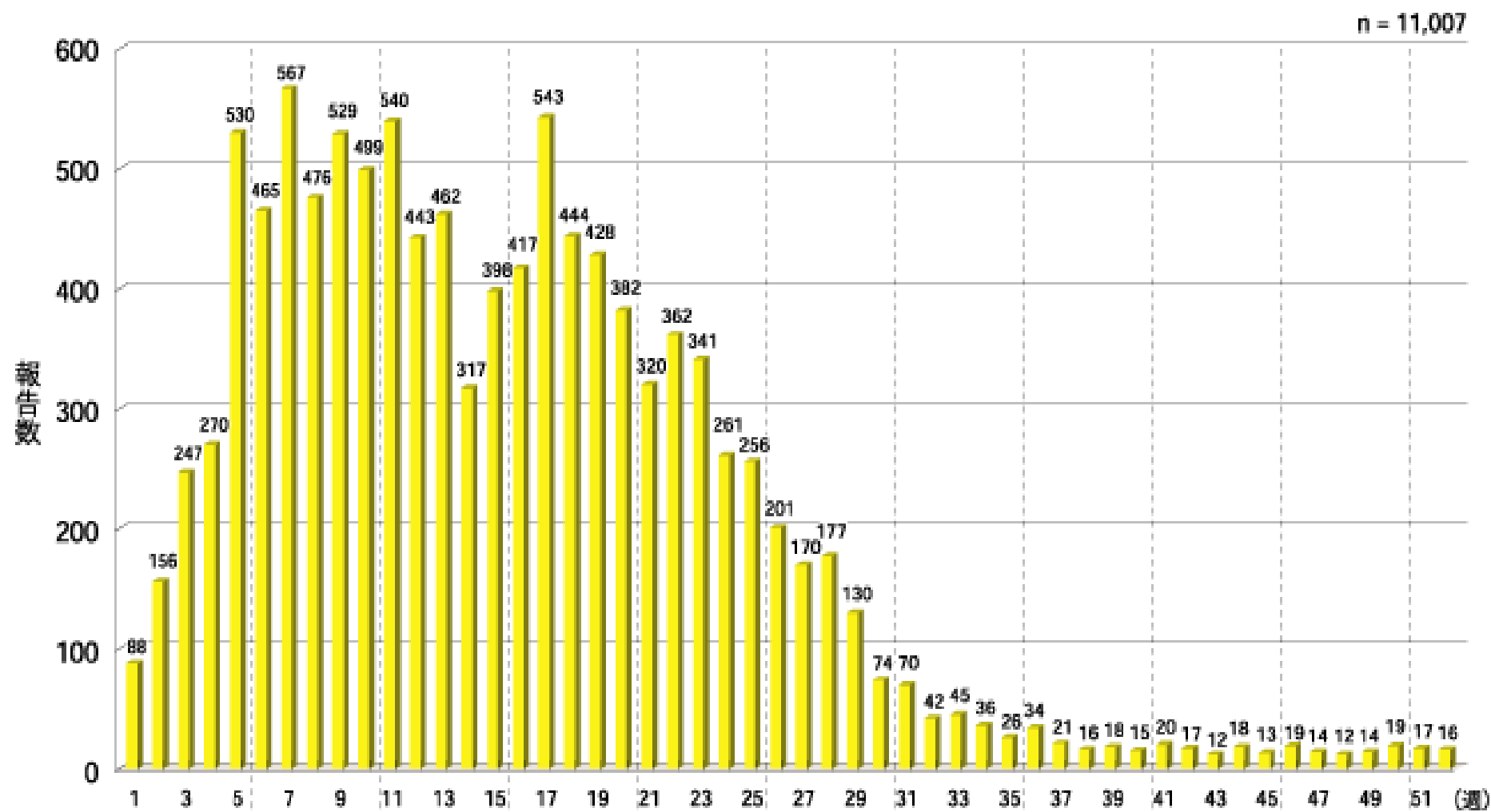
厚生労働大臣告示:2007年12月28日



排除 (Elimination) の定義

- 輸入例を除き麻疹確定例が1年間に人口100万人当たり1例未満であること
- 全数報告などの優れたサーベイランスが実施されていること
- 2回の予防接種率がそれぞれ95%以上であること(全ての年齢コホートで抗体保有率が95%以上になること)
- 輸入例に続く集団発生が小規模であること、等

図1. 麻疹報告数の週別推移(2008年)









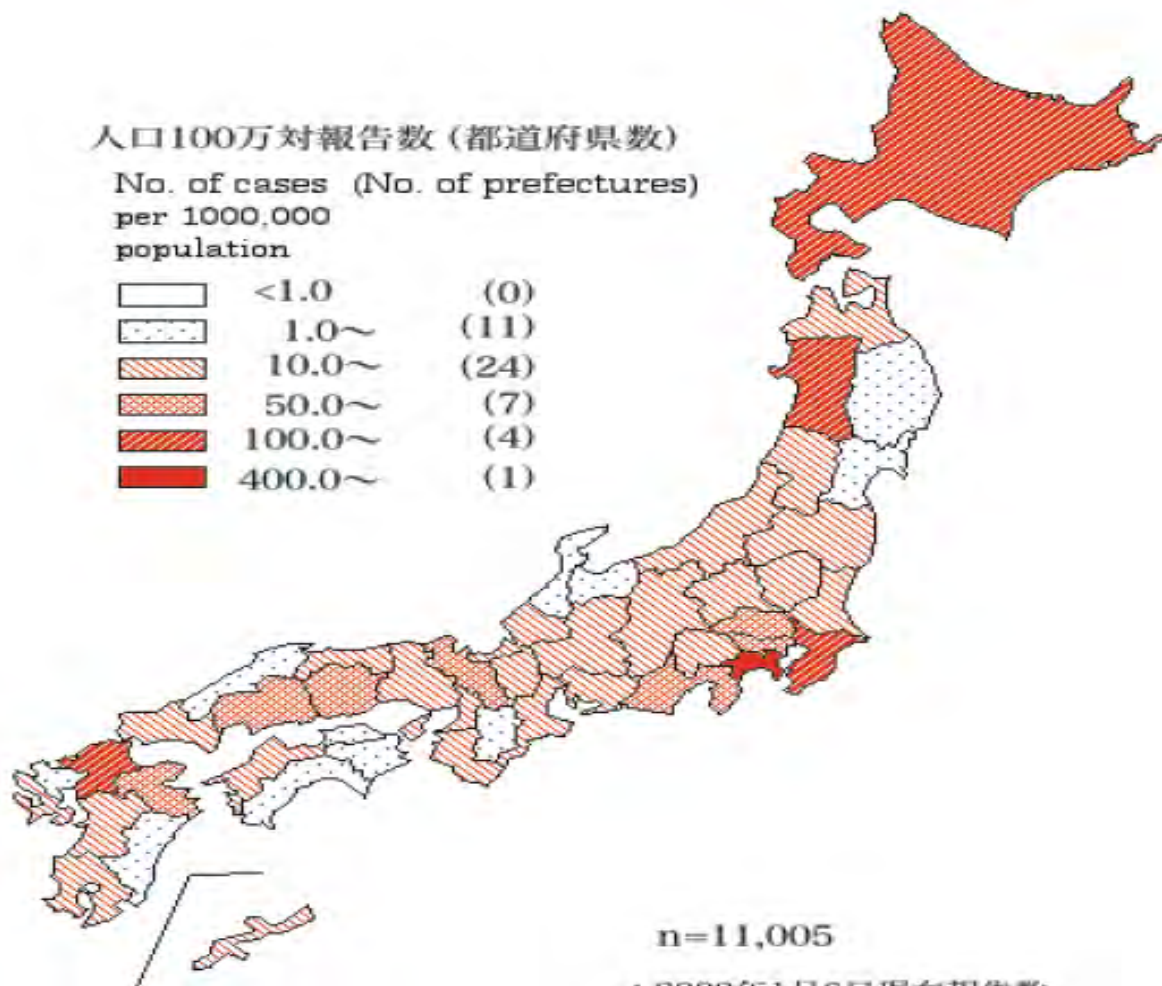
(参考) 都道府県別麻疹累積発症率 (100万対) 2008年 感染症発生動向調査

Cumulative incidence per 1 million-population by prefecture from week 1 to week 52, 2008
(as of January 6, 2009).

人口100万対報告数 (都道府県数)

No. of cases (No. of prefectures)
per 1000,000
population

	<1.0	(0)
	1.0~	(11)
	10.0~	(24)
	50.0~	(7)
	100.0~	(4)
	400.0~	(1)

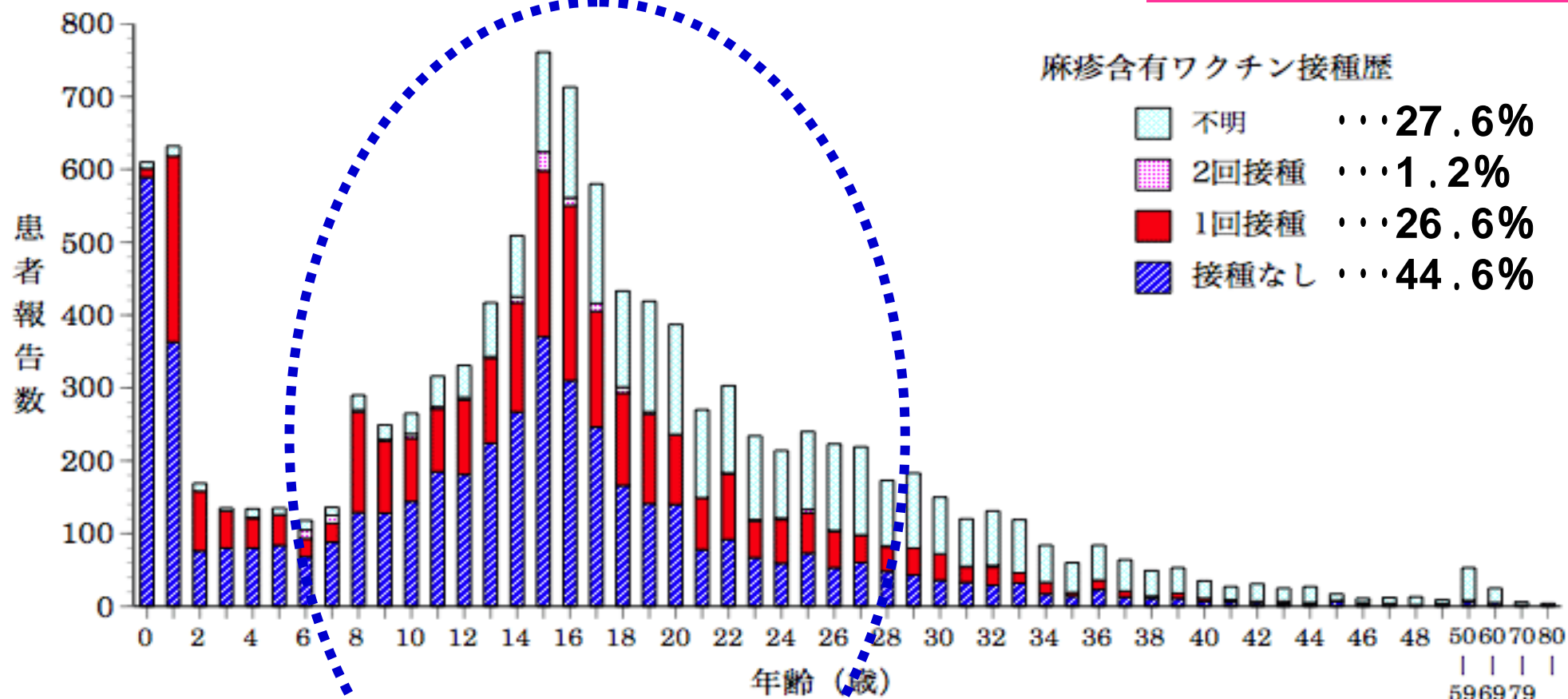


n=11,005

*2009年1月6日現在報告数

図2. 麻疹患者のワクチン接種歴別年齢分布, 2008年

総報告数: 11,007人



(感染症発生動向調査: 2009年1月21日現在報告数)



Infectious Agents Surveillance Report

第47747号
14 小説 5
2 7 短歌・俳句 5 5
文化 6
KODOMO
7 8 9 10
15 商況 12 13

大学入るなら

■主要校8割 感染対策求める

【はしかの予防接種】 日本では、はしかの予防接種は努力義務の位置づけで、接種率は06年度の1歳児で約90%。流行を抑えるのに必要とされる接種率95%に達していない。昨年の患者数は約1万1000人(上り、国際的には「はしか大国」との汚名を着せられている。一方、米田では、ほとんどの小学校で入学前にはしかの2回接種を義務づけられており、2008年の患者数はわずか66人だった。

はしか

予防接種

大学生のはしか流行が問題になっているが、全国の主な大学の8割が、来年の入学生に対して、入学前の感染予防接種を求めることが日本小児科医会などの調査でわかった。予防接種済証明書などの提出を義務づける大学もある。国は今年度から高校生を目標に、はしかワクチンの追加接種を始めたが、接種は5歳未満と5歳、10歳と2歳を推奨。国際会では「接種率の向上につながるのでは」と期待している。

調査は昨年末、同協会、京都小児科医会、京都市学校医会が、一学年の定員が200人以上の総合大学と医学部のある全国の大学計12校に行い、9校から回答を得た。回答83%。「入学前にはしか対策を」と答えた大学は校数でこのほかに、

神戸大 全員に証明義務

20歳前後の若者へのはしか、近年、問題になって、かの流行は2007年、関東近畿を中心に約10万人が1週間未満の期間の中ではしか流行のため休講を余儀なくされる。神戸大では、

【はしかの予防接種】 20歳前後の若者へのはしか、近年、問題になって、かの流行は2007年、関東近畿を中心に約10万人が1週間未満の期間の中ではしか流行のため休講を余儀なくされる。神戸大では、

「予防接種を受けてから免状がとるべき」という考えから、入学前にはしかの2回接種を義務づけることになった。神戸大では、

「予防接種を受けてから免状がとるべき」という考えから、入学前にはしかの2回接種を義務づけることになった。神戸大では、

「予防接種を受けてから免状がとるべき」という考えから、入学前にはしかの2回接種を義務づけることになった。神戸大では、

2007-2008年の流行時に苦勞された大学をはじめとして、多くの大学が麻疹対策に乗りだし始めました。



就学时健診での予防接種歴の確認

- ・ **1歳以上で、麻疹と風疹のワクチンが、2回ずつ済んでいるかどうかを、必ず確認して下さい**（0歳代の接種は回数に含めません）。
- ・ **受けていない場合は、必ず受けてから入学するよう指導して下さい。**（3月31日までなら公費負担）

< 合併症 >

麻疹の二大死因は肺炎と脳炎であり、注意。

(1) **肺炎**：

[ウイルス性肺炎]

[細菌性肺炎]

[巨細胞性肺炎]

(2) **中耳炎**

(3) **クループ症候群**

(4) **心筋炎**

< 中枢神経系合併症 >

- (5) **麻疹脳炎**: 麻疹患者**1,000人**に**0.5 ~ 1人**の割合で脳炎を合併します。**発疹出現後2 ~ 6日頃**に**発症**することが多いです。患者の約**60%**は完全に回復しますが、**20 ~ 40%**に**重い後遺症** (精神発達遅滞、けいれん、行動異常、神経聾、片麻痺、対麻痺)を残し、**致死率は約15%**です。

2008年麻疹脳炎合併例

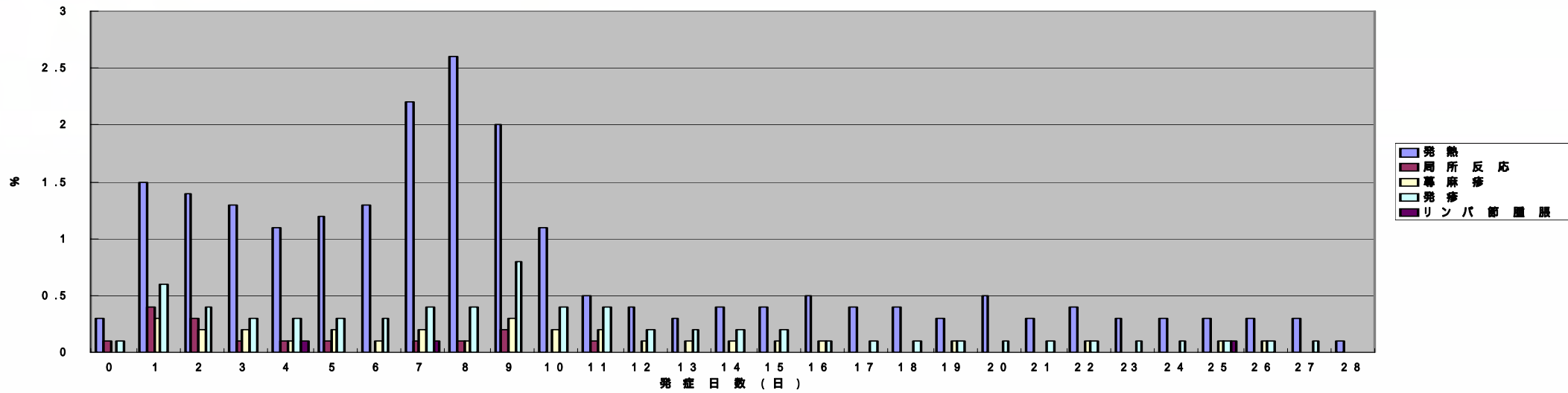
表1. 脳炎合併症の報告があった麻しん症例(2008年)

	診断週	感染地域	報告自治体	性別	年齢	病型	接種歴	転帰
1	第4週	北海道	北海道	女	10代	臨床診断例	無	軽快
2	第4週	神奈川県	神奈川県	男	20代	検査診断例	無	軽快
3	第5週	神奈川県	神奈川県	男	30代	臨床診断例	無	軽快
4	第9週	北海道	北海道	女	20代	検査診断例	無	
5	第16週	千葉県	東京都	女	40代	修飾麻しん(検査診断例)	不明	
6	第26週	神奈川県	神奈川県	男	20代	検査診断例	1回(1歳時、親の記憶)	高次脳機能障害
7	第29週	神奈川県	神奈川県	男	10代	検査診断例	無	
8	第31週	東京都	東京都	男	40代	修飾麻しん(検査診断例)	不明	
9	第44週	千葉県	千葉県	女	30代	修飾麻しん(検査診断例)	不明	

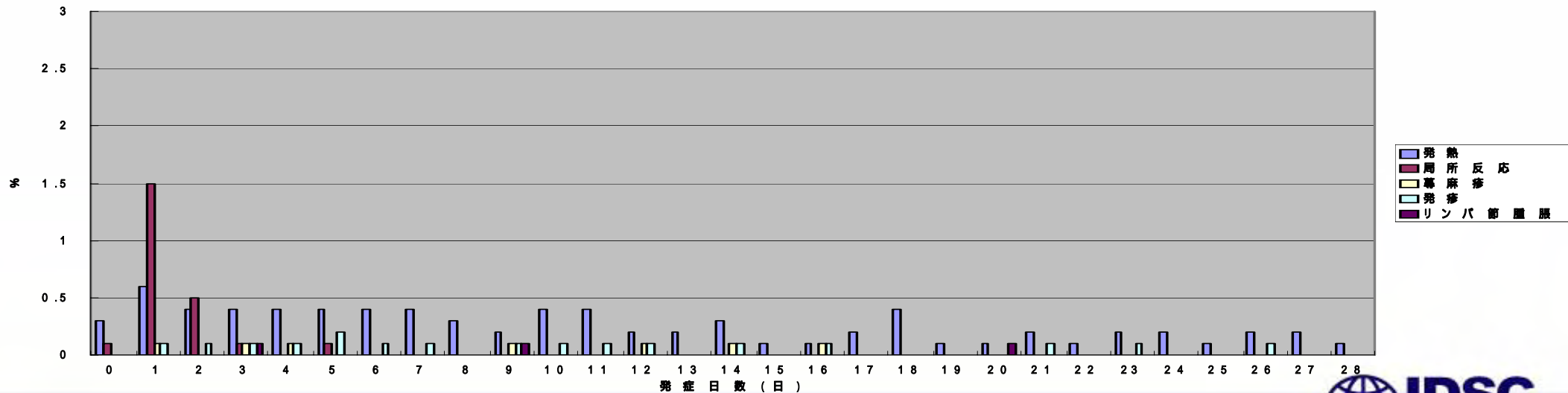
ここで
ビデオを視聴

予防接種後健康状況調査 集計報告書より(平成18年度累計)

M R 1 期 (5 0 2 0 人)



M R 2 期 (3 3 3 8 人)



まれな副反応

- じんましん、アナフィラキシーショック
- 熱性けいれん(低年齢児の場合)
- 血管迷走神経反射(年長児～思春期以降)
- 脳炎・脳症(100～150万接種に1例以下):麻疹を発症すると1000人に1人・風疹を発症すると4000～6000人に1人

麻疹

- SSPE (ワクチンによる発生はなし):麻疹を発症すると10万人に1人

風疹

- 血小板減少性紫斑病(100万接種に1例程度):風疹を発症すると、3,000～5,000人に1人
- 関節痛(年長児～思春期以降)

思春期以降の女性への 予防接種時の注意点

- 妊娠していることに気づいていない場合、妊娠していることを話したくない場合もあるので、思春期以降の女性に接種する場合は、生理が遅れていないかどうか等について、個別に妊娠に関して予診をつくす配慮が必要です。

年長の者に接種する場合の注意

- 血管迷走神経反射** (注射の痛みや恐怖・不安等の精神的動揺により自律神経系が刺激され、全身の血管床が拡張するために脳血流が低下することで血圧や心拍数の低下を引き起こす生理的反応。**顔面蒼白、冷汗、気分不良、悪心・嘔吐、徐脈、血圧低下、失神などの症状**が見られる。臥位にて数分程度で回復する。)

が起こる可能性があります。

- 献血時**で気分不良、吐き気、めまい、失神などが起こる**頻度約0.8%** (平成16年度) : 日本赤十字社HPより)

**30分間は座って待っていきましょう。
何もなければ帰宅を！！**

予防接種を受けやすい環境作り

- ・第3, 4期は**保護者同伴用件の緩和**
- ・**集団の場での接種機会**(予診、診察をつくした接種であり、以前行われていた集団接種とは異なる)
- ・**かかったことがある疾患を含む混合ワクチンの接種が可能に**
例: 麻疹にかかったことがあっても麻疹風疹混合ワクチンの接種が可能

希望があれば勿論風疹単抗原ワクチンの選択も可能。

ただし、かかったというのは思い間違いのことがあるので要注意。

特に**風疹はかかったと思っていた半分が風疹ではなかった**
という報告あり

2008年度

第1期麻しん風しんワクチン接種率

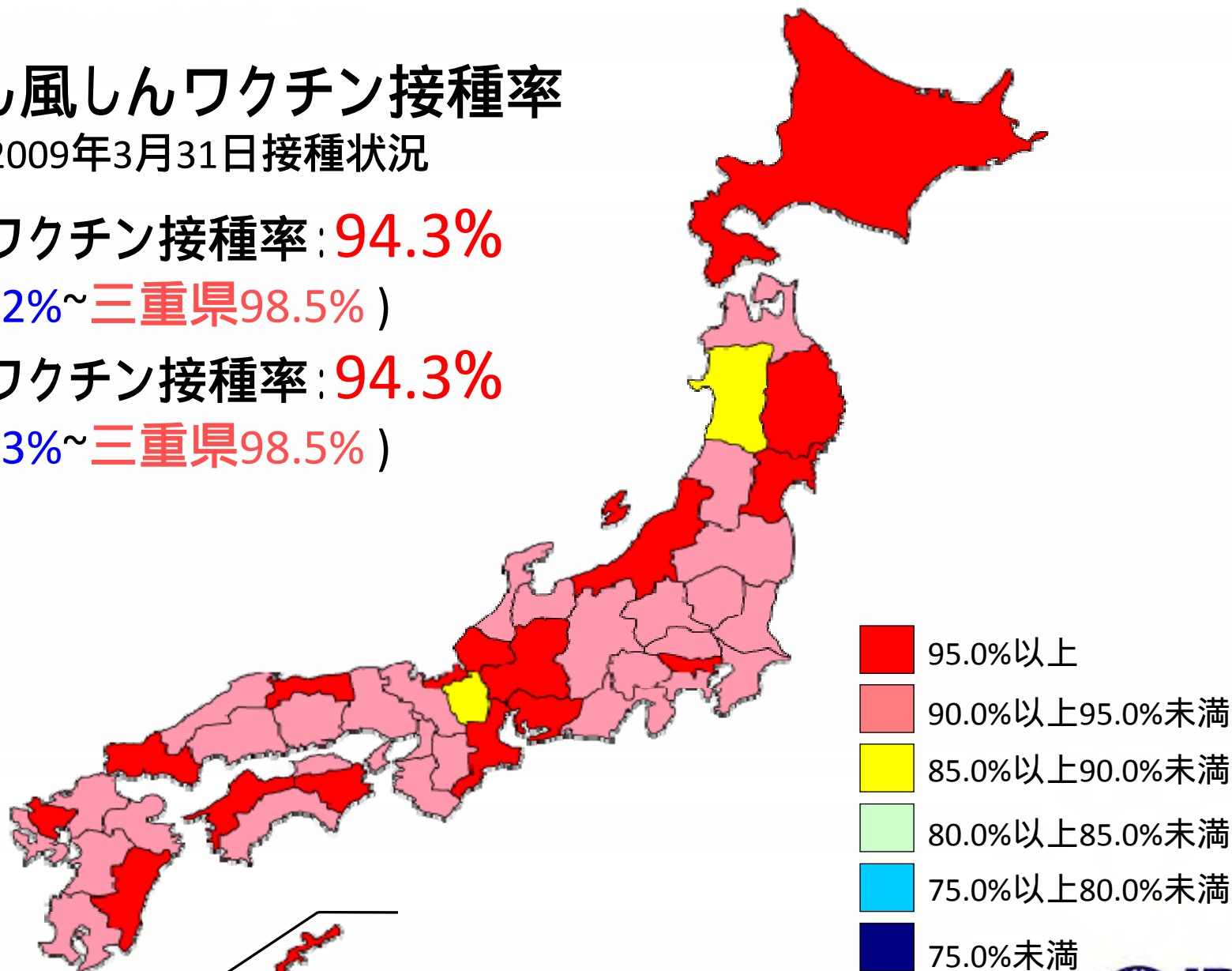
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第1期 麻しんワクチン接種率: **94.3%**

(秋田県88.2%~三重県98.5%)

第1期 風しんワクチン接種率: **94.3%**

(秋田県88.3%~三重県98.5%)



表I-1. 2008年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年9月4日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は、2008年10月1日現在の1歳児の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度

第1期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	三重県	16,179	15,932	8	7	98.5	98.5
2	沖縄県	15,796	15,452	7	5	97.9	97.9
3	岐阜県	17,702	17,166	3	9	97.0	97.0
	福井県	7,224	7,004	0	1	97.0	97.0
5	山口県	11,708	11,324	0	3	96.7	96.7
6	宮城県	19,551	18,880	4	7	96.6	96.6
	佐賀県	7,635	7,371	3	1	96.6	96.6
8	新潟県	18,606	17,925	10	17	96.4	96.4
9	徳島県	6,032	5,797	2	0	96.1	96.1
10	愛知県	71,847	68,785	48	19	95.8	95.8
11	東京都	103,150	98,701	63	123	95.7	95.8
	岩手県	10,273	9,807	2	1	95.5	95.5
12	北海道	41,502	39,517	10	38	95.2	95.3
	宮崎県	10,302	9,808	0	0	95.2	95.2
	鳥取県	4,998	4,756	1	2	95.2	95.2
16	愛媛県	11,858	11,277	5	2	95.1	95.1
17	千葉県	53,523	50,761	14	55	94.9	94.9
18	岡山県	17,102	16,194	17	20	94.8	94.8
19	京都府	21,562	20,402	21	18	94.7	94.7
20	青森県	10,148	9,563	2	3	94.3	94.3
21	大阪府	77,096	72,470	64	66	94.1	94.1
	静岡県	34,246	32,189	26	38	94.1	94.1
23	兵庫県	49,155	46,189	4	11	94.0	94.0
24	群馬県	17,517	16,421	28	3	93.9	93.8
	石川県	10,383	9,747	1	4	93.9	93.9
26	長野県	18,835	17,664	6	4	93.8	93.8
	山梨県	7,483	7,015	4	2	93.8	93.8
28	栃木県	17,401	16,308	3	5	93.7	93.7
29	神奈川県	80,606	75,416	69	156	93.6	93.8
	島根県	5,917	5,538	0	1	93.6	93.6
31	鹿児島県	15,000	14,013	5	7	93.5	93.5
	大分県	10,112	9,444	2	5	93.4	93.4
32	高知県	5,780	5,398	1	1	93.4	93.4
	富山県	8,799	8,214	1	3	93.4	93.4
35	埼玉県	62,630	58,367	29	62	93.2	93.3
36	和歌山県	7,782	7,239	1	1	93.0	93.0
37	香川県	8,736	8,119	1	1	92.9	92.9
38	福島県	17,120	15,887	3	5	92.8	92.8
39	奈良県	11,553	10,682	4	3	92.5	92.5
	福岡県	46,226	42,737	16	45	92.5	92.5
41	広島県	26,091	24,085	7	13	92.3	92.4
42	長崎県	12,197	11,222	0	0	92.0	92.0
43	茨城県	25,243	23,155	0	7	91.7	91.8
44	山形県	9,420	8,589	1	2	91.2	91.2
45	熊本県	16,004	14,507	7	5	90.7	90.7
46	滋賀県	14,126	12,586	7	3	89.1	89.1
47	秋田県	7,540	6,648	1	12	88.2	88.3
	全国	1,099,696	1,036,271	511	796	94.3	94.3

2008年度

第2期麻しん風しんワクチン接種率

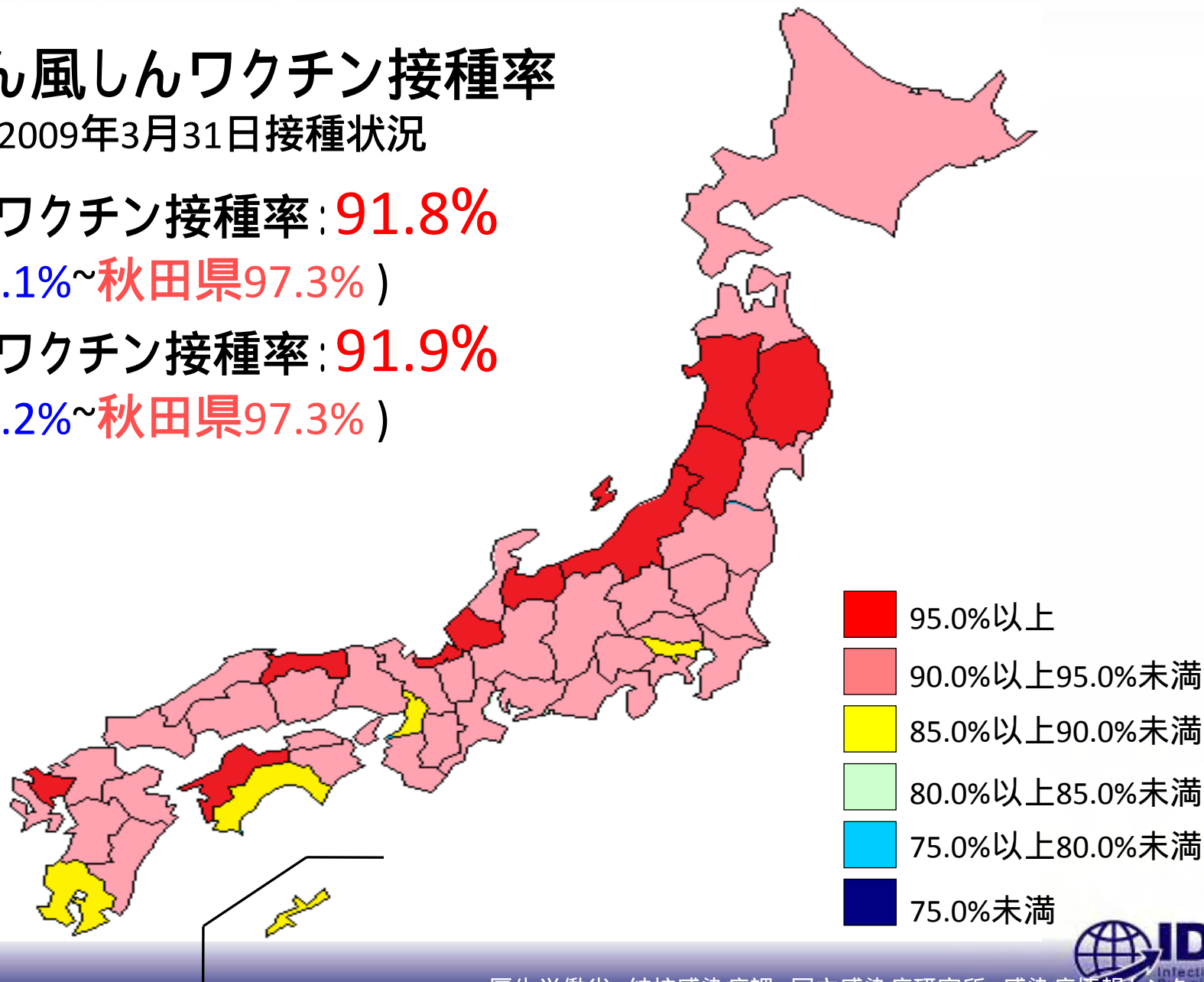
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第2期 麻しんワクチン接種率: **91.8%**

(**沖縄県**88.1%~**秋田県**97.3%)

第2期 風しんワクチン接種率: **91.9%**

(**沖縄県**88.2%~**秋田県**97.3%)



表Ⅱ-1. 2008年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年7月31日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく
MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度
第2期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/① ×100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/① ×100
1	秋田県	8360	8133	0	3	97.3	97.3
2	佐賀県	8034	7733	1	1	96.3	96.3
3	福井県	7688	7381	1	4	96.0	96.1
4	新潟県	20131	19237	7	16	95.6	95.6
5	富山県	9805	9361	1	4	95.5	95.5
6	鳥取県	5301	5048	2	3	95.3	95.3
7	山形県	10359	9862	0	0	95.2	95.2
8	岩手県	11,628	11,053	4	1	95.1	95.1
9	愛媛県	12568	11934	8	8	95.0	95.0
10	石川県	10749	10184	2	2	94.8	94.8
11	青森県	12122	11441	0	4	94.4	94.4
12	三重県	17753	16734	2	3	94.3	94.3
13	岡山県	18449	17358	25	20	94.2	94.2
14	島根県	6307	5923	1	2	93.9	93.9
	茨城県	27468	25798	0	0	93.9	93.9
16	兵庫県	52323	48996	24	25	93.7	93.7
17	群馬県	19128	17873	14	3	93.5	93.5
18	徳島県	6769	6310	1	2	93.2	93.2
	香川県	9490	8843	0	5	93.2	93.2
20	長野県	20584	19162	1	11	93.1	93.1
21	京都府	22562	20924	17	12	92.8	92.8
	熊本県	16793	15582	3	4	92.8	92.8
23	宮城県	21,009	19,464	1	45	92.7	92.9
24	長崎県	13392	12398	4	5	92.6	92.6
	愛知県	72737	67233	62	20	92.5	92.5
25	福島県	19054	17614	10	25	92.5	92.6
	千葉県	56149	51902	14	52	92.5	92.5
28	北海道	45251	41743	20	29	92.3	92.3
29	滋賀県	14709	13563	5	9	92.2	92.3
	山梨県	7960	7333	1	2	92.1	92.1
30	埼玉県	65649	60444	9	66	92.1	92.2
	和歌山県	8929	8219	2	1	92.1	92.1
33	福岡県	46107	42331	14	18	91.8	91.8
	静岡県	35701	32776	6	17	91.8	91.9
	大分県	10492	9590	8	18	91.5	91.6
35	宮崎県	10717	9802	1	4	91.5	91.5
	山口県	12721	11630	4	1	91.5	91.4
38	岐阜県	20501	18711	3	4	91.3	91.3
39	栃木県	18758	17112	2	8	91.2	91.3
40	奈良県	12610	11494	0	2	91.1	91.2
41	広島県	26,288	23,797	11	3	90.6	90.5
42	神奈川県	81563	73392	63	95	90.1	90.1
43	高知県	6377	5733	2	0	89.9	89.9
44	大阪府	81316	72163	52	44	88.8	88.8
	鹿児島県	15795	14019	4	10	88.8	88.8
46	東京都	100734	88869	50	115	88.3	88.3
47	沖縄県	16589	14611	3	15	88.1	88.2
	全国	1155479	1060813	465	741	91.8	91.9

2008年度

第3期麻しん風しんワクチン接種率

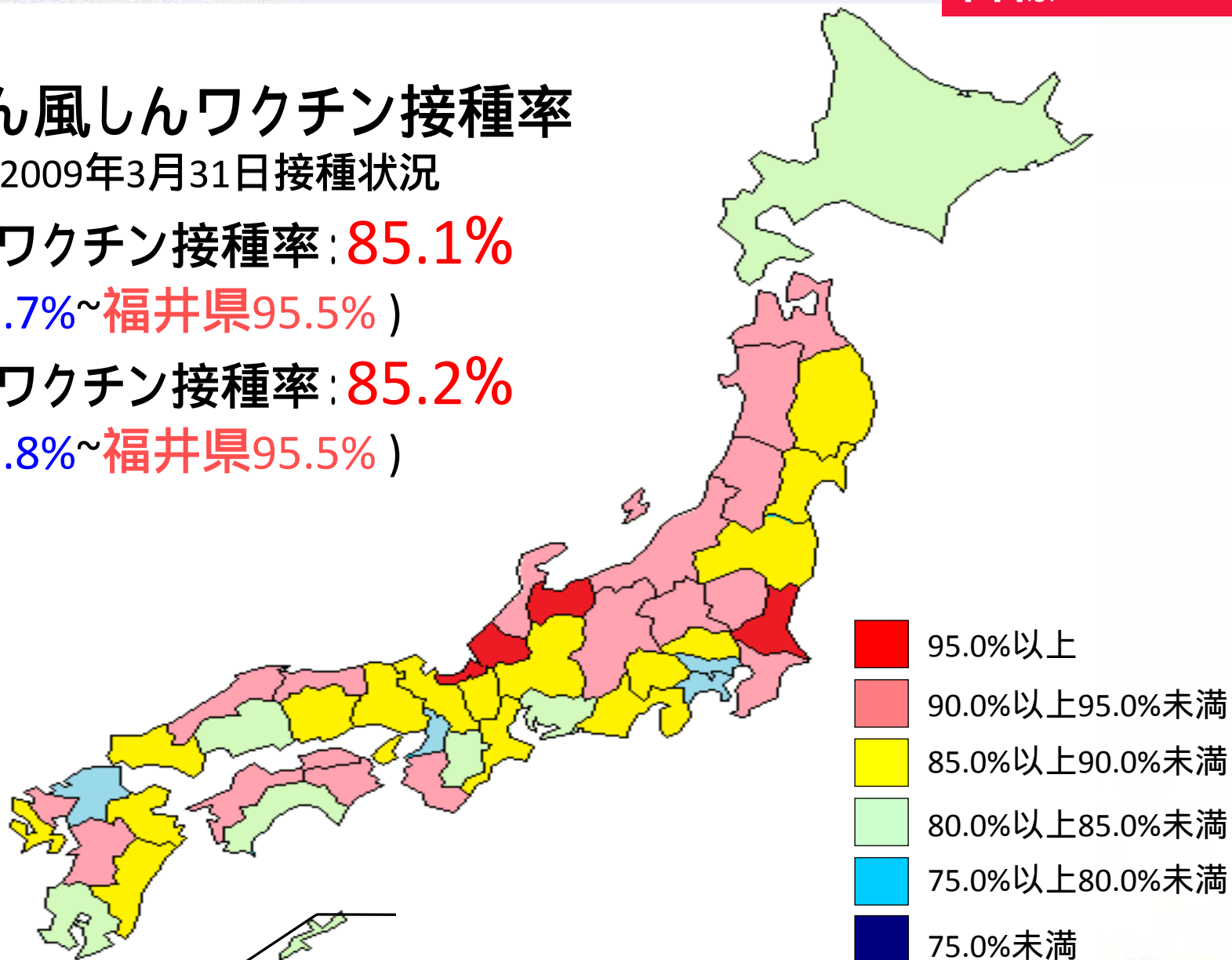
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第3期 麻しんワクチン接種率: **85.1%**

(福岡県75.7%~福井県95.5%)

第3期 風しんワクチン接種率: **85.2%**

(福岡県75.8%~福井県95.5%)



表Ⅲ-1. 2008年度 第3期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年7月31日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度
第3期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	福井県	8284	7902	9	6	95.5	95.5
2	富山県	10167	9687	0	24	95.3	95.5
3	茨城県	28725	27314	0	0	95.1	95.1
4	秋田県	10105	9583	3	10	94.9	94.9
5	新潟県	22689	21362	10	19	94.2	94.2
6	山形県	11451	10729	2	4	93.7	93.7
7	長野県	21558	20179	10	41	93.6	93.8
8	栃木県	19237	17829	4	8	92.7	92.7
9	石川県	11207	10366	3	3	92.5	92.5
10	佐賀県	9185	8469	5	3	92.3	92.2
11	鳥取県	5654	5197	3	3	92.0	92.0
12	島根県	6915	6339	4	3	91.7	91.7
	熊本県	17970	16476	4	15	91.7	91.8
14	青森県	14135	12873	8	14	91.1	91.2
15	香川県	9230	8374	7	19	90.8	90.9
	群馬県	19948	18070	37	26	90.8	90.7
17	和歌山県	9977	9041	3	7	90.6	90.7
	愛媛県	13691	12383	17	41	90.6	90.7
19	千葉県	55374	49838	35	101	90.1	90.2
20	徳島県	7428	6681	3	11	90.0	90.1
21	長崎県	14759	13259	15	3	89.9	89.9
22	静岡県	35896	32061	20	23	89.4	89.4
23	岩手県	13,231	11,814	2	2	89.3	89.3
	岡山県	18598	16560	47	41	89.3	89.3
25	宮城県	22,012	19,567	4	14	88.9	89.0
	山口県	13447	11936	13	15	88.9	88.9
27	宮崎県	11838	10461	5	14	88.4	88.5
28	岐阜県	21198	18712	10	40	88.3	88.5
29	京都府	22846	19892	46	59	87.3	87.3
30	福島県	21079	18320	3	28	86.9	87.0
31	埼玉県	67234	57811	44	104	86.1	86.1
32	三重県	18338	15773	1	9	86.0	86.1
33	山梨県	9065	7775	7	7	85.8	85.8
34	大分県	11247	9601	34	18	85.7	85.5
35	滋賀県	14196	12103	18	27	85.4	85.4
36	兵庫県	53630	45549	57	61	85.0	85.0
37	奈良県	13626	11509	6	14	84.5	84.6
38	沖縄県	17038	14355	1	5	84.3	84.3
39	愛知県	71385	60100	24	65	84.2	84.3
40	鹿児島県	17009	14127	7	5	83.1	83.1
41	高知県	7126	5866	2	2	82.3	82.3
42	北海道	49140	40274	29	72	82.0	82.1
43	広島県	27,305	22,081	42	14	81.0	80.9
44	神奈川県	80830	62812	103	132	77.8	77.9
45	大阪府	81833	62951	237	175	77.2	77.1
46	東京都	97759	74023	51	191	75.8	75.9
47	福岡県	48017	36339	23	43	75.7	75.8
	全国	1192612	1014323	1018	1541	85.1	85.2

2008年度

第4期麻しん風しんワクチン接種率

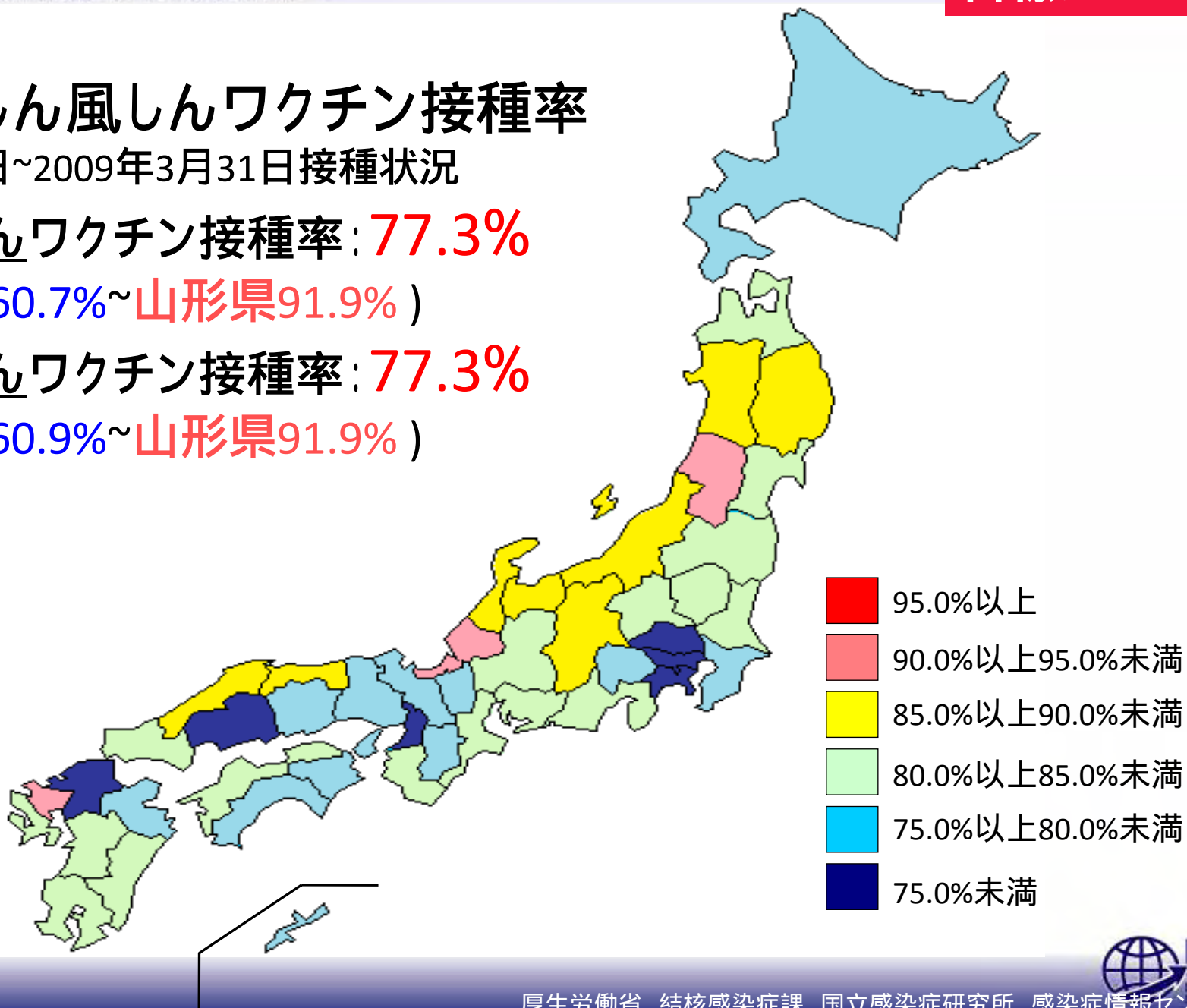
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第4期 麻しんワクチン接種率: **77.3%**

(東京都60.7%~山形県91.9%)

第4期 風しんワクチン接種率: **77.3%**

(東京都60.9%~山形県91.9%)



表IV-1. 2008年度 第4期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年7月31日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度
第4期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	山形県	12611	11576	14	15	91.9	91.9
2	福井県	8683	7904	7	10	91.1	91.1
3	佐賀県	9981	8962	21	17	90.0	90.0
4	岩手県	14,464	12,978	8	13	89.8	89.8
5	新潟県	24600	22020	50	28	89.7	89.6
6	島根県	7727	6850	10	11	88.8	88.8
7	富山県	10266	9093	10	20	88.7	88.8
8	石川県	11587	10015	18	24	86.6	86.6
9	長野県	21944	18902	81	77	86.5	86.5
10	鳥取県	6606	5700	7	13	86.4	86.5
11	秋田県	10700	9223	15	28	86.3	86.5
12	青森県	14798	12542	18	25	84.9	84.9
13	長崎県	16256	13714	46	20	84.6	84.5
14	熊本県	19364	16261	38	24	84.2	84.1
15	山口県	13931	11587	29	42	83.4	83.5
	鹿児島県	18837	15697	4	8	83.4	83.4
17	群馬県	19848	16377	67	30	82.8	82.7
18	和歌山県	10813	8920	17	10	82.7	82.6
19	岐阜県	21610	17803	13	29	82.4	82.5
	栃木県	20184	16603	21	27	82.4	82.4
21	愛媛県	14840	12139	81	68	82.3	82.3
22	静岡県	37562	30773	77	48	82.1	82.1
	三重県	18983	15571	17	21	82.1	82.1
24	宮崎県	12405	10067	30	21	81.4	81.3
25	愛知県	69351	56224	75	100	81.2	81.2
26	福島県	22784	18446	25	46	81.1	81.2
27	香川県	9829	7886	14	28	80.4	80.5
28	茨城県	30490	24467	0	0	80.2	80.2
	宮城県	23,540	18,866	10	31	80.2	80.3
30	北海道	53754	42787	148	121	79.9	79.8
31	滋賀県	14835	11753	88	51	79.8	79.6
	岡山県	19306	15248	157	104	79.8	79.5
33	大分県	11891	9354	109	59	79.6	79.2
34	京都府	23362	18473	99	71	79.5	79.4
35	徳島県	7887	6252	10	15	79.4	79.5
36	奈良県	14857	11734	30	30	79.2	79.2
37	山梨県	9355	7370	11	42	78.9	79.2
38	兵庫県	54815	42969	220	116	78.8	78.6
39	高知県	7343	5744	10	14	78.4	78.4
40	千葉県	55619	43183	113	166	77.8	77.9
41	沖縄県	17203	13214	4	6	76.8	76.8
42	埼玉県	67247	49799	142	254	74.3	74.4
43	広島県	28,557	21,032	121	49	74.1	73.8
44	福岡県	49560	36019	105	77	72.9	72.8
45	大阪府	79721	53776	526	240	68.1	67.8
46	神奈川県	78035	49329	295	285	63.6	63.6
47	東京都	96143	58166	214	355	60.7	60.9
	全国	1224084	943368	3225	2889	77.3	77.3

麻疹について、どのようにしたら全国のワクチン接種率が上がると思いますか？ また、あなたでしたらどのような気持ちになったらワクチンを受けに行こうと思いますか？(自由記載)

無料にすればいい

詳しく説明して、重要だということをみんなに知らせることが大事

学校で受けさせる、または、義務化する

意識を高める

マスメディア

各学校で接種をすすめる

このプリントを見て受けようと思った。

麻疹がどのような病気なのか詳しく知らせること。

麻疹について知ることが出来たとき

麻疹の恐ろしさをもっと教えるべき

公費負担にする

麻疹予防のために必要だと知らせる

ワクチンをしたらお菓子もらえる

危ないと思うようになったら(周りが)

麻疹についての詳しい情報

思わない

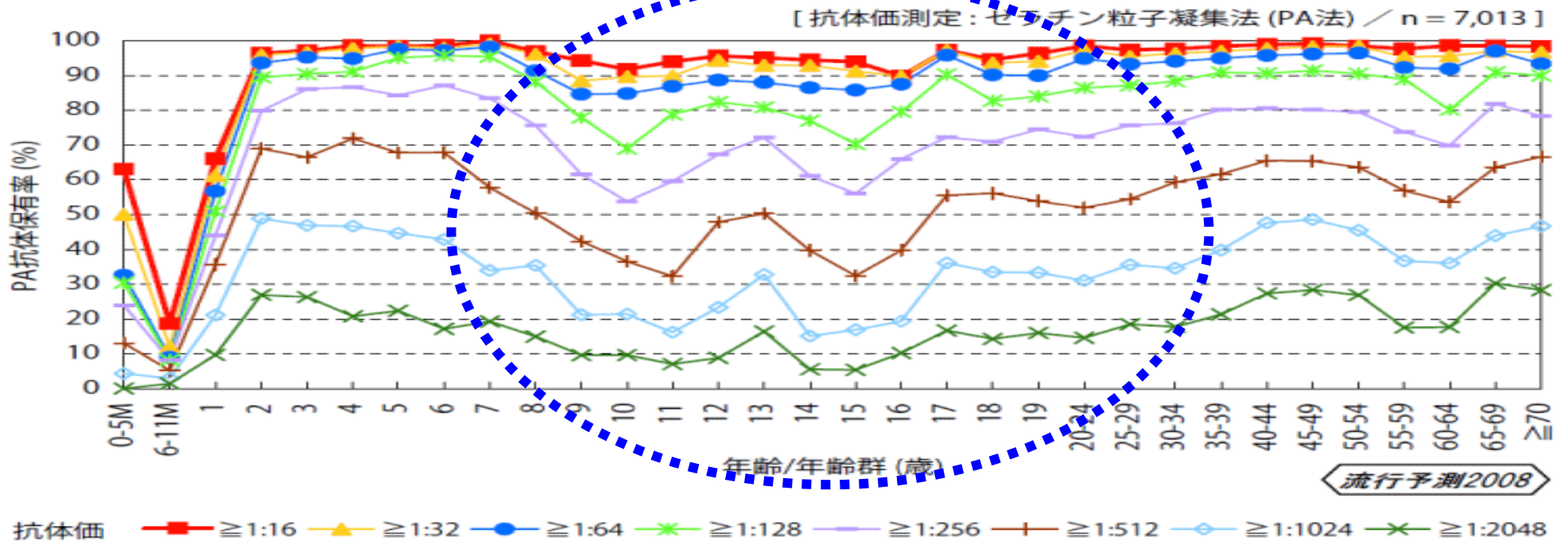
怖い病気ということを強調する

学校で接種させる、無料にする、危険性を教える。



麻疹に対する 国民の免疫保有率(感染症流行予測調査より)

年齢/年齢群別の麻疹PA抗体保有状況
～ 2008年度感染症流行予測調査より#1 ～



#1 原則として2008年7～9月に採取された血清を用いた測定結果の2009年4月時点の集計値(暫定値)であり、今後変わる可能性があります。

1:128以上(緑)の抗体保有率を見てください!!!

麻疹(はしか)・風疹ワクチンの接種

- 接種不適当者(いわゆる接種禁忌)に該当する人以外は全員受けることを目標としてください。
- 麻疹と風疹の両方にかかったことが確実である人と、両方のワクチンを2回ずつ接種したことが記録により確実な人は、

接種を受ける必要はありませんが、不確かな場合、記憶のみに基づく場合は、予防接種を受けてください。

0歳児の時の予防接種は回数に含めません

記憶じゃなくて、記録を頼りに……
きおく きろく

Table 2a: Measles case classification and incidence, by country and area, Western Pacific Region, 2007-2009*

2009年5月号

Country	2007年		人口100万人あたりの患者数	2008年		人口100万人あたりの患者数	2009年		2009 [†]							
	Suspected measles cases	Total confirmed cases		Suspected measles cases	Total confirmed cases		Suspected measles cases	Confirmed measles cases				Discarded cases	Pending classification	Deaths due to measles	Measles incidence per 1 million pop.	
								Lab	Epi-linked	Clinical	Total					
3. オーストラリア	11	11	0.5	65	65	3.1	85	85	0	0	0	85	0	0	0	12.1
15. ブルネイ	No data	No data	No data	18	3	7.5	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0.0
4. カンボジア	1294	394	27.3	4211	1765	120.1	904	6	0	48	54	697	153	0	0	10.0
No data. 中国	118 031	109 023 ‡	82.1	144 221	131 441 ‡	98.4	33 238	No data	No data	No data	No data	No data	No data	No data	24	No data
7. 香港	106	88	12.2	89	71	9.8	20	8	0	5	13	4	3	0	0	5.3
6. 日本	No data	18 000 †	140.7	10 950	10 944	85.5	241	124	4	113	241	0	0	0	0	5.7
10. ラオス	1670	1670	285.0	245	117	19.6	36	3	0	0	3	21	12	0	0	1.5
15. マカオ	1	0	0.0	25	5	10.3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0.0
5. マレーシア	1544	740	27.8	1909	333	12.3	464	23	0	57	80	132	252	0	0	8.7
15. モンゴル	110	110	41.8	370	31	11.7	35	0	0	0	0	35	0	0	0	0.0
2. ニュージーランド	25	25	6.0	15	15	3.6	37	3	26	5	34	0	3	0	0	24.0
15. パプアニューギニア	4	0	0.0	50	1	0.2	32	0	0	0	0	29	3	0	0	0.0
8. フィリピン	888	500	5.7	1586	880	9.8	767	108	0	30	138	409	220	0	0	4.5
13. 韓国	451	218	4.5	97	2	0.0	15	1	0	2	3	12	0	0	0	0.2
9. シンガポール	15	15	3.4	18	18	4.0	3	3	0	0	3	0	0	0	0	2.0
1. ベトナム	5286	17	0.2	1872	258	2.9	3209	699	92	0	791	1459	959	0	0	26.5
American Samoa	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Cook Islands	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Fiji	9	0	0.0	13	0	0.0	35	3	0	0	3	6	26	0	0	10.6
French Polynesia	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Guam	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Kiribati	0	0	0.0	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Marshall Islands	3	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Micronesia, Federated States of	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Nauru	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
New Caledonia	3	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Niue	0	0	0.0	5	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Northern Mariana Islands, Commonwealth of the	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Palau	14	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Samoa	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Solomon Islands	0	0	0.0	4	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Tokelau	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Tonga	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Tuvalu	0	0	0.0	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Vanuatu	0	0	0.0	0	0	0.0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0.0
Wallis and Futuna	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Western Pacific Region	129 469	130 811	73.6	165 765	145 949	81.6	39 127	1066	122	260	1448	2809	1632	24	0	9.5

* Monthly reports for January-April 2009

† Only laboratory confirmed cases are reported from Australia and Singapore.

‡ Data from WHO/UNICEF Joint Reporting Form (JRF) 2007 and 2008

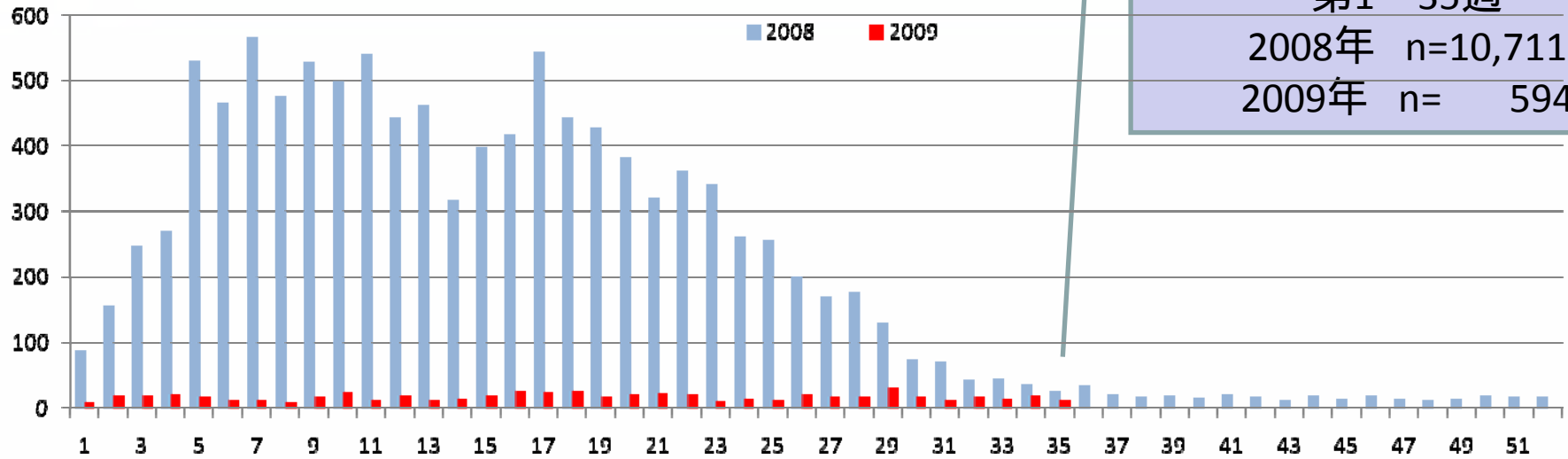
§ Among children <15 years old. CDC, Progress toward Measles Elimination - Japan, 1999 - 2008. *MMWR* 2008; 57:1045-1052.

Green <1 confirmed measles case / 1 000 000 population
 Yellow 1-1.9 confirmed measles case / 1 000 000 population
 Red > 2 confirmed cases / 1 000 000 population

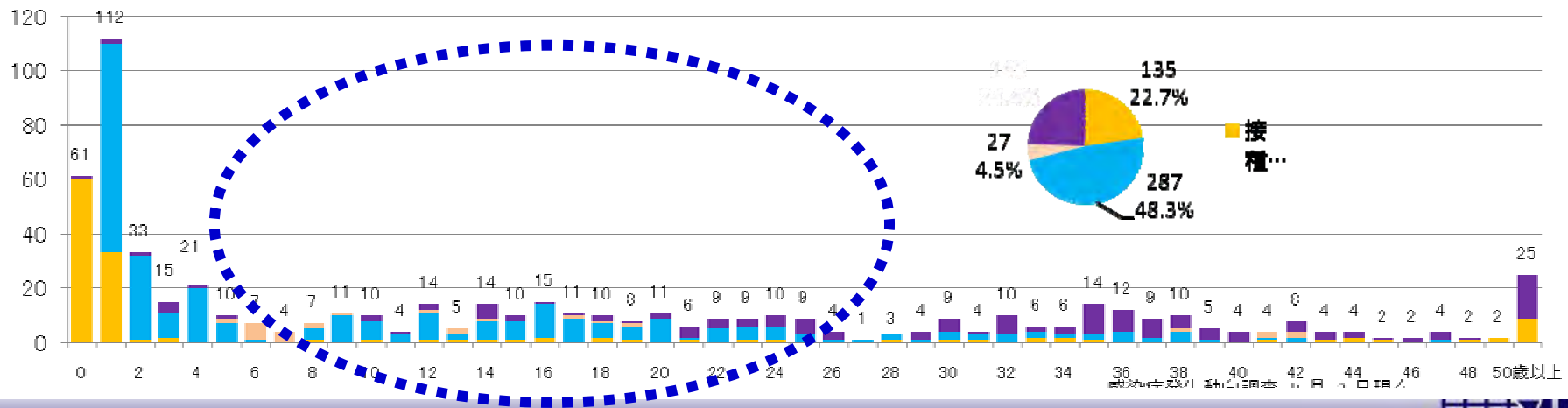
排除の定義は1未満



麻疹報告数



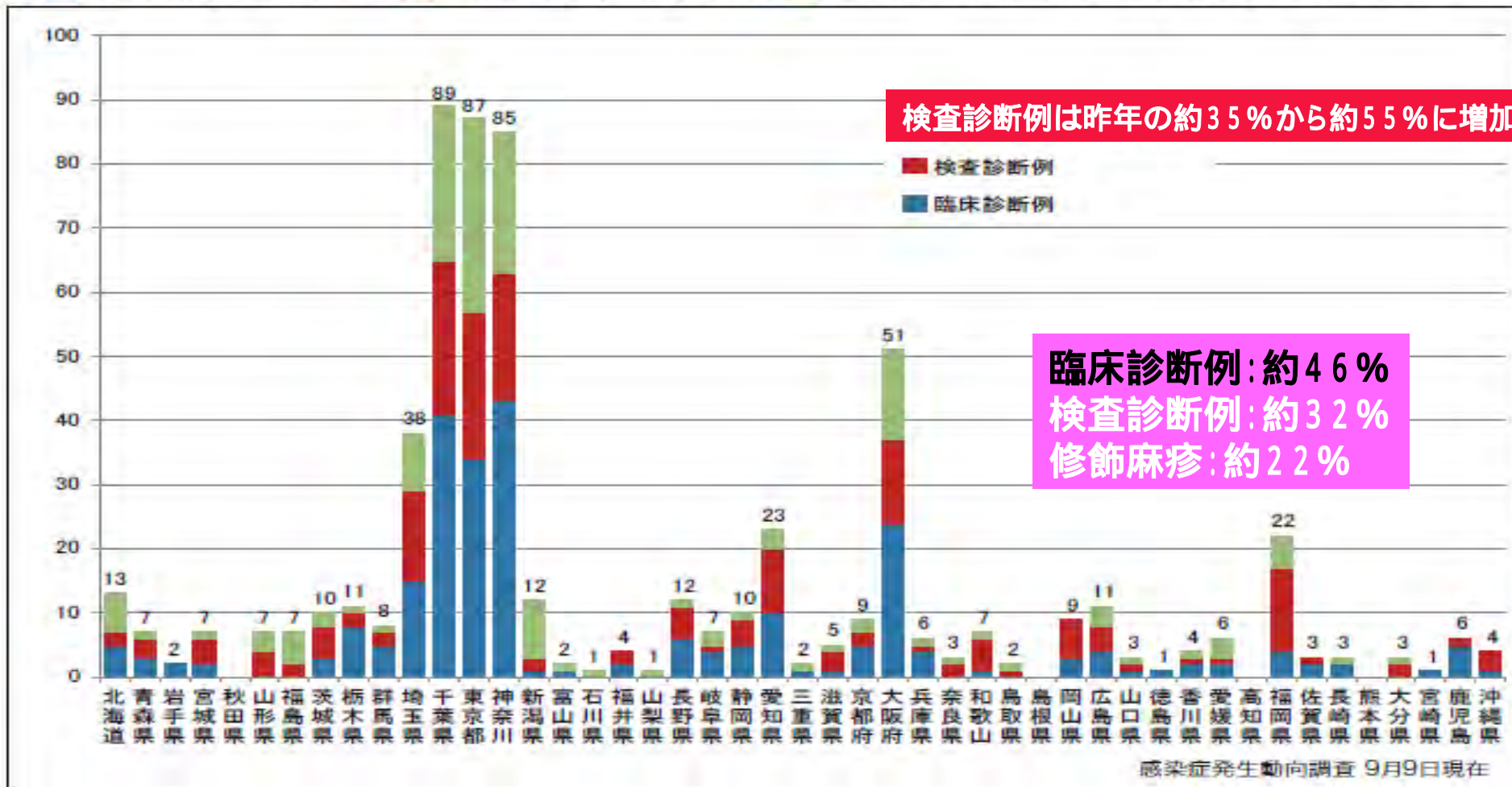
第1~35週
2008年 n=10,711
2009年 n= 594



3. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2009年第1週-36週 (n=604)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis from week 1 to week 36, 2009 (as of September 9).

■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, laboratory diagnosed



麻疹の検査診断

- IgM抗体は発疹出現後4日以内の場合、陽性に出ないことがあります(その場合はRT-PCRが有用です)
- 麻疹疑い患者でIgM抗体陰性の場合、RT-PCR検査を実施すると30%弱が陽性という報告があります(千葉県衛生研究所小川先生発表より)
- 突発性発疹(HHV-6)、伝染性紅斑等の場合、麻疹のIgM抗体が弱陽性に出ることがあります
- IgM抗体を提出すると同時に、是非、EDTA血、尿、咽頭ぬぐい液の3点セット(3つが無理な場合は2点セット)を、地方衛生研究所に届けてください。
- 各地の衛生研究所で今すぐの検討が無理の場合は、麻疹レファレンスセンターへご相談いただき、もしそこでも困難な場合は国立感染症研究所が検査を実施します。

麻疹ウイルスサーベイランスネットワーク

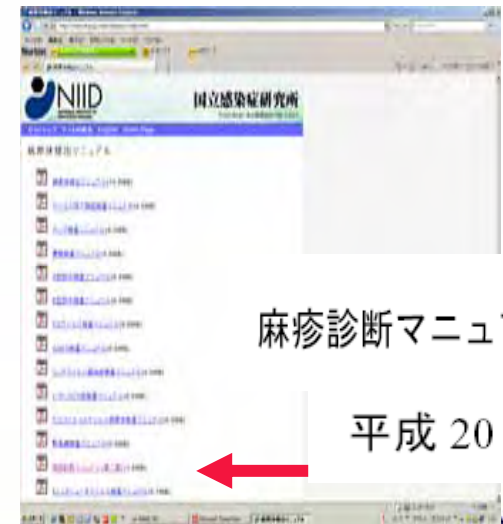
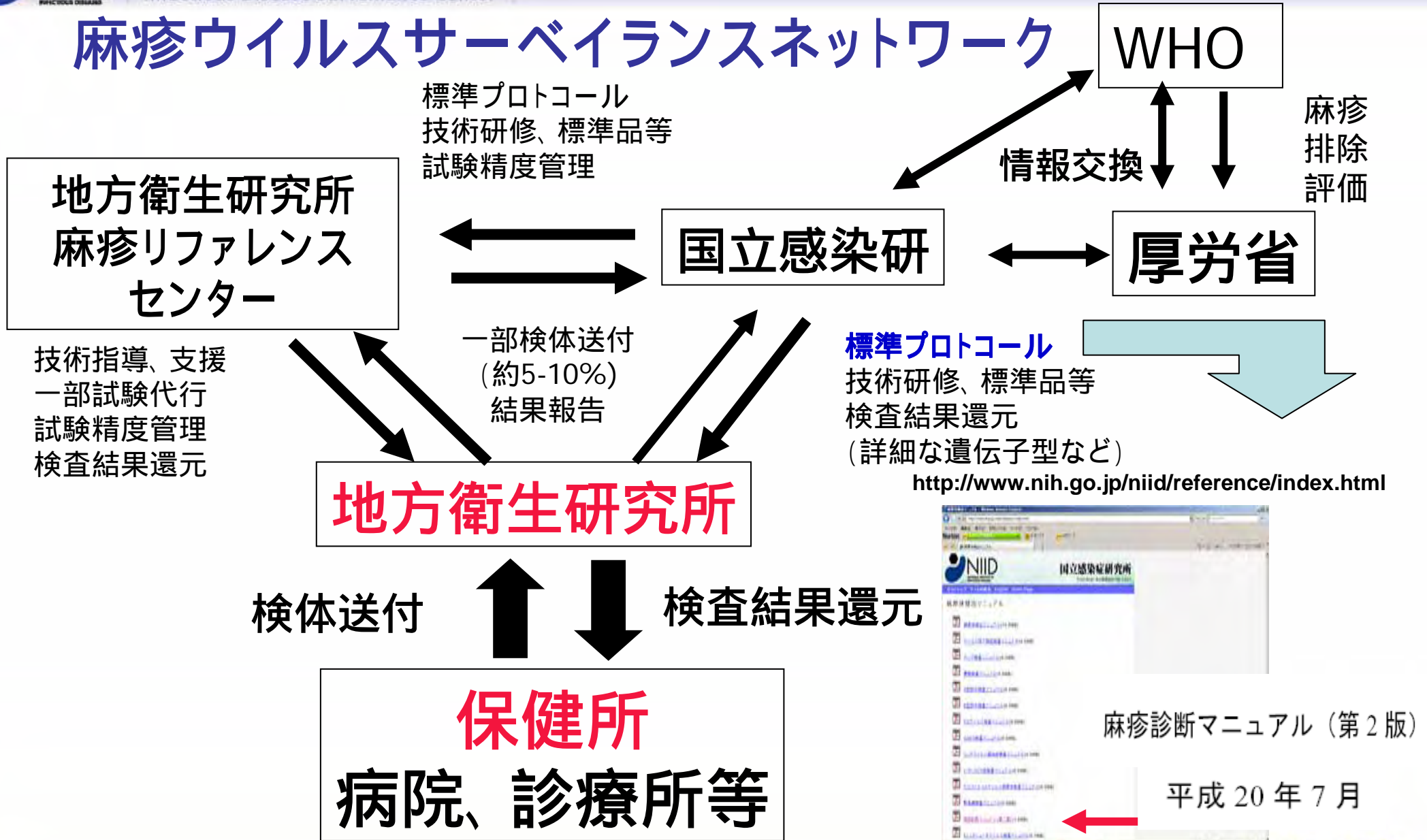


表1. 麻しん・風しんレファレンスセンター

2009(平成21)年1月現在

地区	レファレンスセンター	担当者
北海道	北海道立衛生研究所・微生物部	長野秀樹
東北	山形県衛生研究所・微生物部	青木洋子
関東・甲・信・静	千葉県衛生研究所・ウイルス研究室	小川知子
東海	愛知県衛生研究所	皆川洋子
北陸	石川県保健環境センター・ 健康・食品安全科学部ウイルスG	倉本早苗
近畿	大阪府立公衆衛生研究所・ 感染症部ウイルス課	加瀬哲男
中国・四国	岡山県環境保健センター	小倉 肇
九州	福岡県保健環境研究所・保健科学部	千々和勝己
沖縄	沖縄県衛生環境研究所・衛生科学班	平良勝也

麻しん検査診断体制ならびに検査診断法について

(IASR Vol. 30 p. 45-47:2009年2月号)

国立感染症研究所ウイルス第三部 駒瀬勝啓

国立感染症研究所感染症情報センター 木村博一

麻しん・風しんレファレンスセンター

長野秀樹 岡野素彦 青木洋子 小川知子 皆川洋子 倉本早苗 加瀬哲男 小倉 肇 千々和勝己 平良勝也

堺市衛生研究所 田中智之



Infectious Agents Surveillance Report

図1. 麻しん検査診断フローチャート(咽頭ぬぐい液/尿)

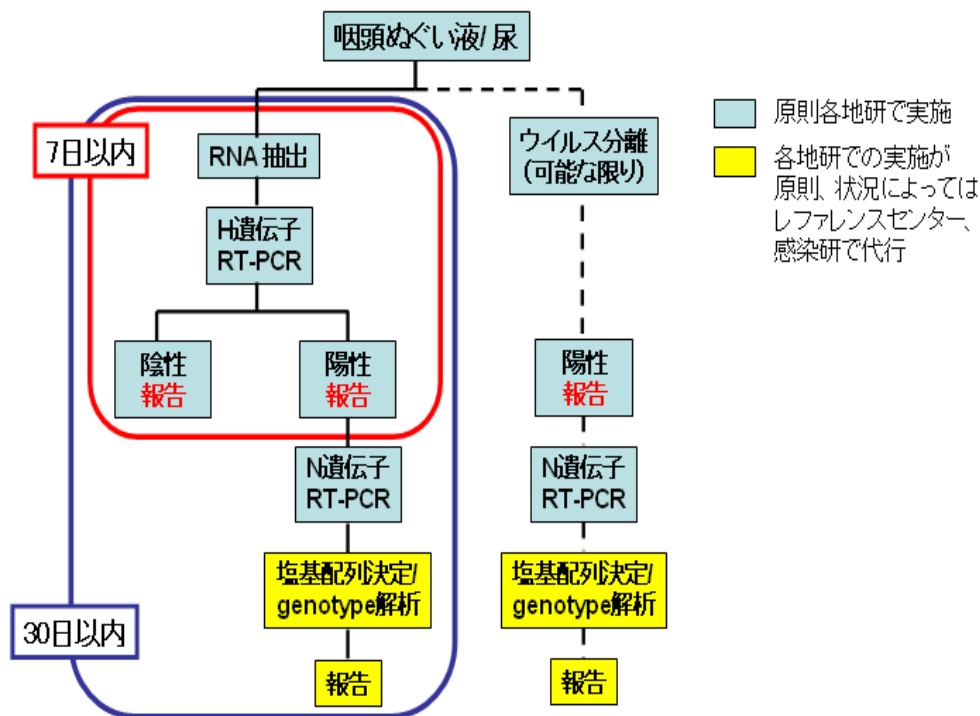
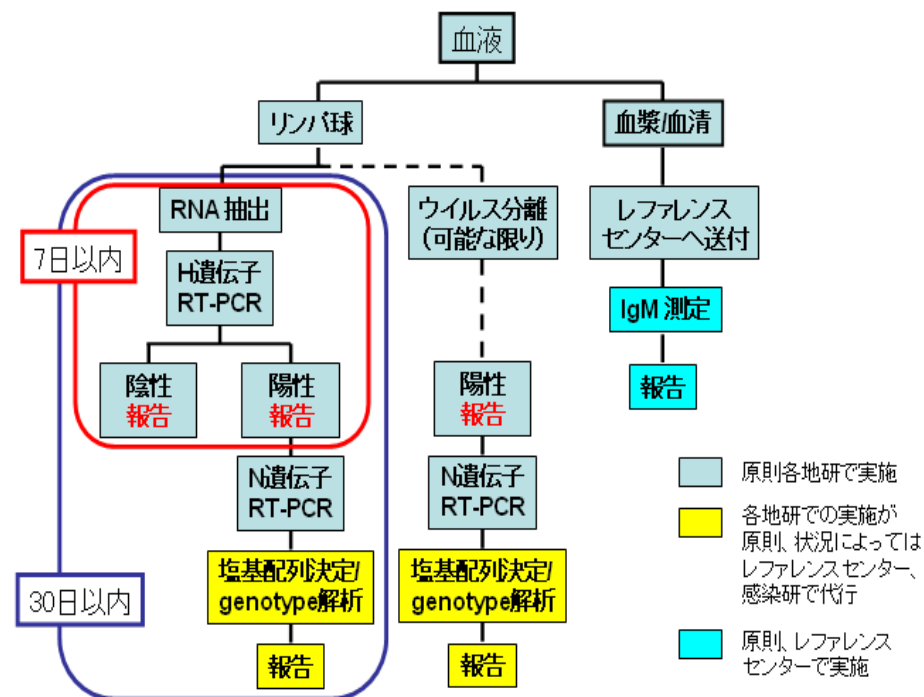


図2. 麻しん検査診断フローチャート(血液)



IASR

Infectious Agents Surveillance Report

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

麻しん検査診断体制ならびに検査診断法について
(IASR Vol. 30 p. 45-47:2009年2月号)

国立感染症研究所ウイルス第三部 駒瀬勝啓

国立感染症研究所感染症情報センター 木村博一

麻しん・風しんレファレンスセンター

長野秀樹 岡野素彦 青木洋子 小川知子 皆川洋子 倉本早苗 加瀬哲男 小倉 肇 千々和勝己 平良勝也

堺市衛生研究所 田中智之

積極的勧奨のスケジュール

中学1年生



高校3年生



インフルエンザの流行が……

3月31日までに95%以上達成が目標です

緊急情報

はしかにならない！ はしかにさせない！

夏休みが終わるまでに
麻疹風疹ワクチンを!!
インフルエンザが来る前に



▶ 1歳のお子様は、1歳のお誕生日に!!

第4回 麻しん対策推進会議が 厚生労働省で開催されました。

平成21年9月9日(水)

< 中枢神経系合併症 >

亜急性硬化性全脳炎 (subacute sclerosing panencephalitis : SSPE) : 麻疹ウイルスに感染後、数年から10年程度経ってから発症することのある中枢神経疾患です。知能障害、運動障害が徐々に進行し、ミオクローヌスなどの症状を示します。**死の転帰**をとる、進行性の予後不良な病気です。発生頻度は、**麻疹罹患者10万人に1人**とされています。

会議内容について報道された内容(その1)

はしかのワクチン追加接種低迷 対策会議「残念」 2009/09/09 11:45
【共同通信】

<http://www.47news.jp/CN/200909/CN2009090901000272.html>

会議内容について報道された内容(その2)

はしかワクチン未接種の中高生に学校関係者が勧奨を(キャリアブレイン)更新:2009/09/09 19:56 キャリアブレイン

<http://www.cabrain.net/news/article/newsId/24199.html>

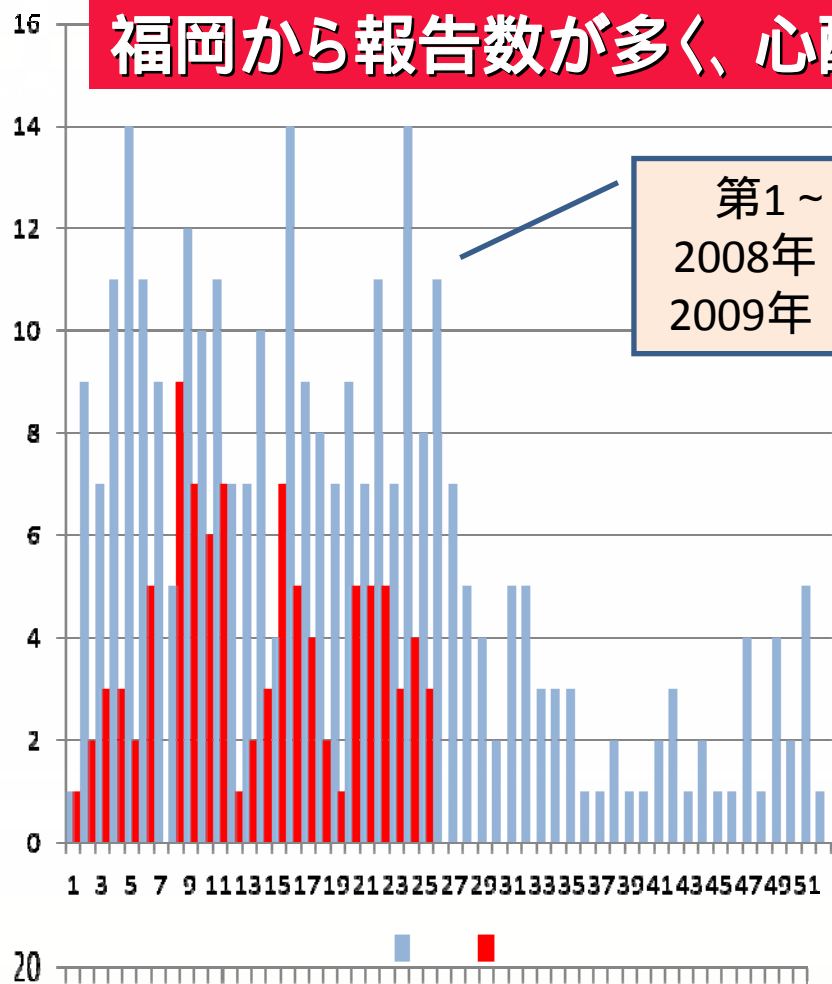
教育啓発用ツール: 患者が減った時こそ、 麻疹予防接種の重要性を忘れずに!!



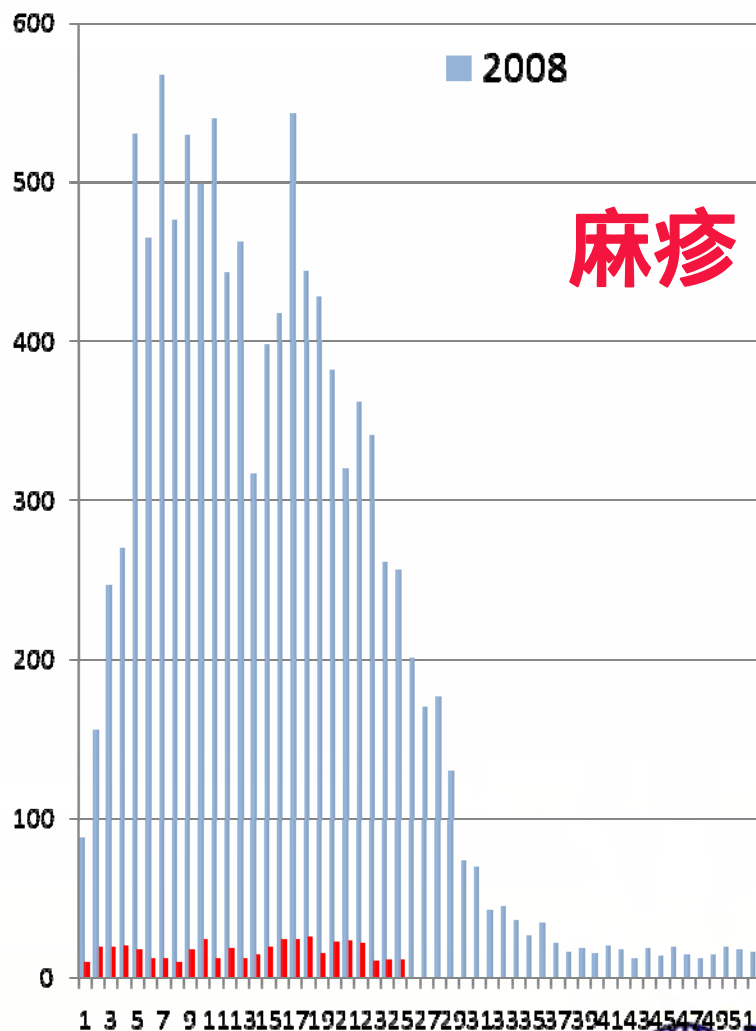
週別風しん報告数の比較 2008、2009年第25週

福岡から報告数が多く、心配...

第1～25週
2008年 n=216
2009年 n= 95



風疹



麻疹

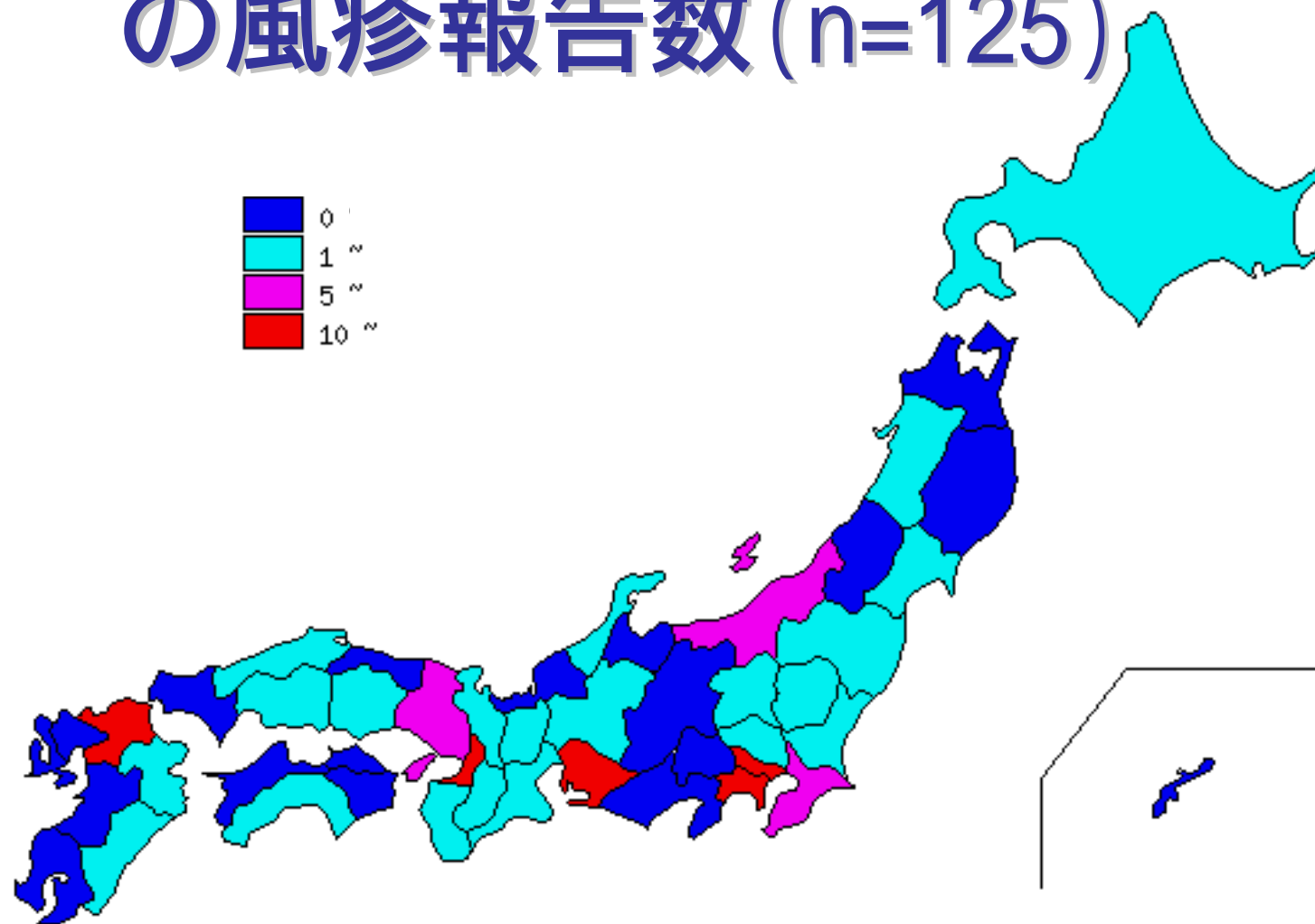
妊娠中に麻疹にかかると 流産・早産になることがある 新生児麻疹の報告もある



妊娠前にはワクチンを接種して、
免疫を獲得しておいて欲しい。

先日、妊娠中の風疹発症の妊婦さんの情報が寄せられました。数年ぶりに先天性風疹症候群の赤ちゃんの報告がありました。風疹にも注意が必要です。妊娠前に免疫を獲得しておいて欲しい。

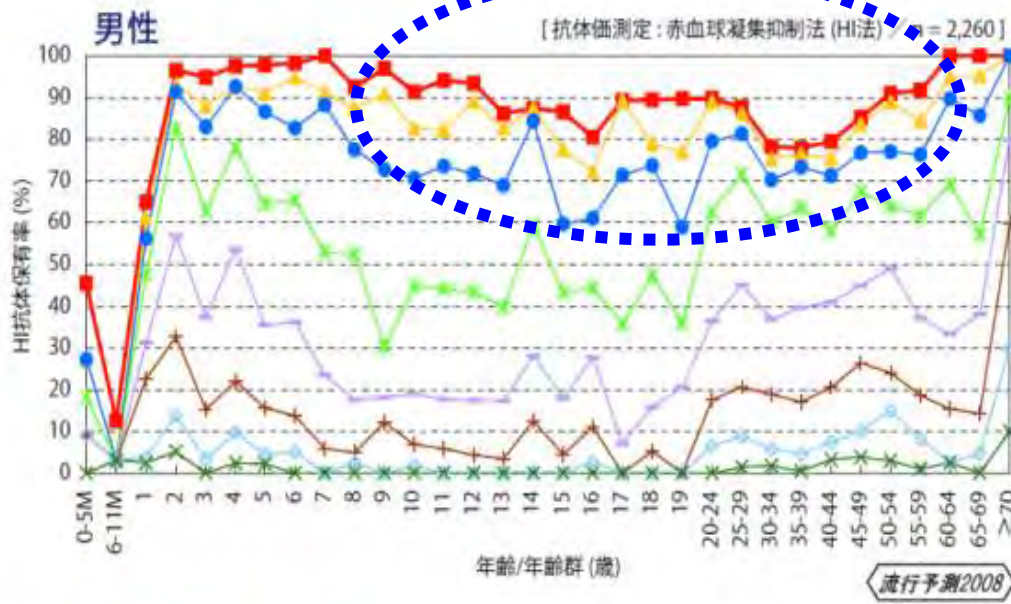
2009年1月1日 ~ 8月23日まで の風疹報告数 (n=125)



風疹HI交代保有状況 (2008年感染症流行予測調査より)

年齢/年齢群別の風疹HI抗体保有状況

～2008年度感染症流行予測調査より^{#1}～

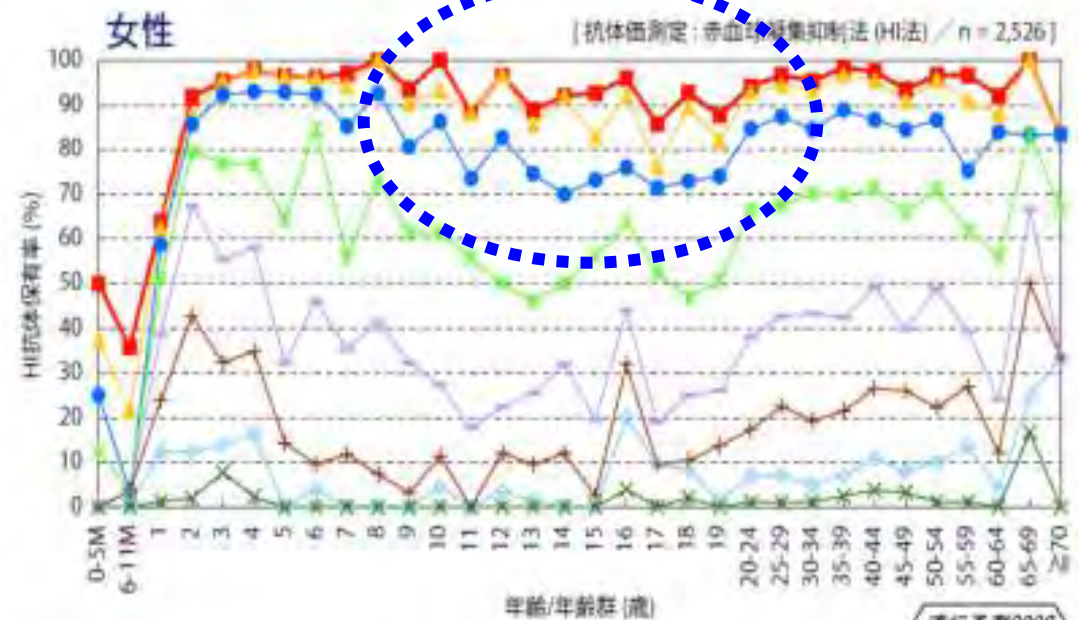


抗体価 ■ ≥1:8 ◆ ≥1:16 ● ≥1:32 ▲ ≥1:64 ✕ ≥1:128 + ≥1:256 ☆ ≥1:512 ✖ ≥1:1024

#1 原則として2008年7～9月に採取された血清を用いた測定結果の2009年4月時点の集計値(暫定値)であり、今後変わる可能性があります。

年齢/年齢群別の風疹HI抗体保有状況

～2008年度感染症流行予測調査より^{#1}～



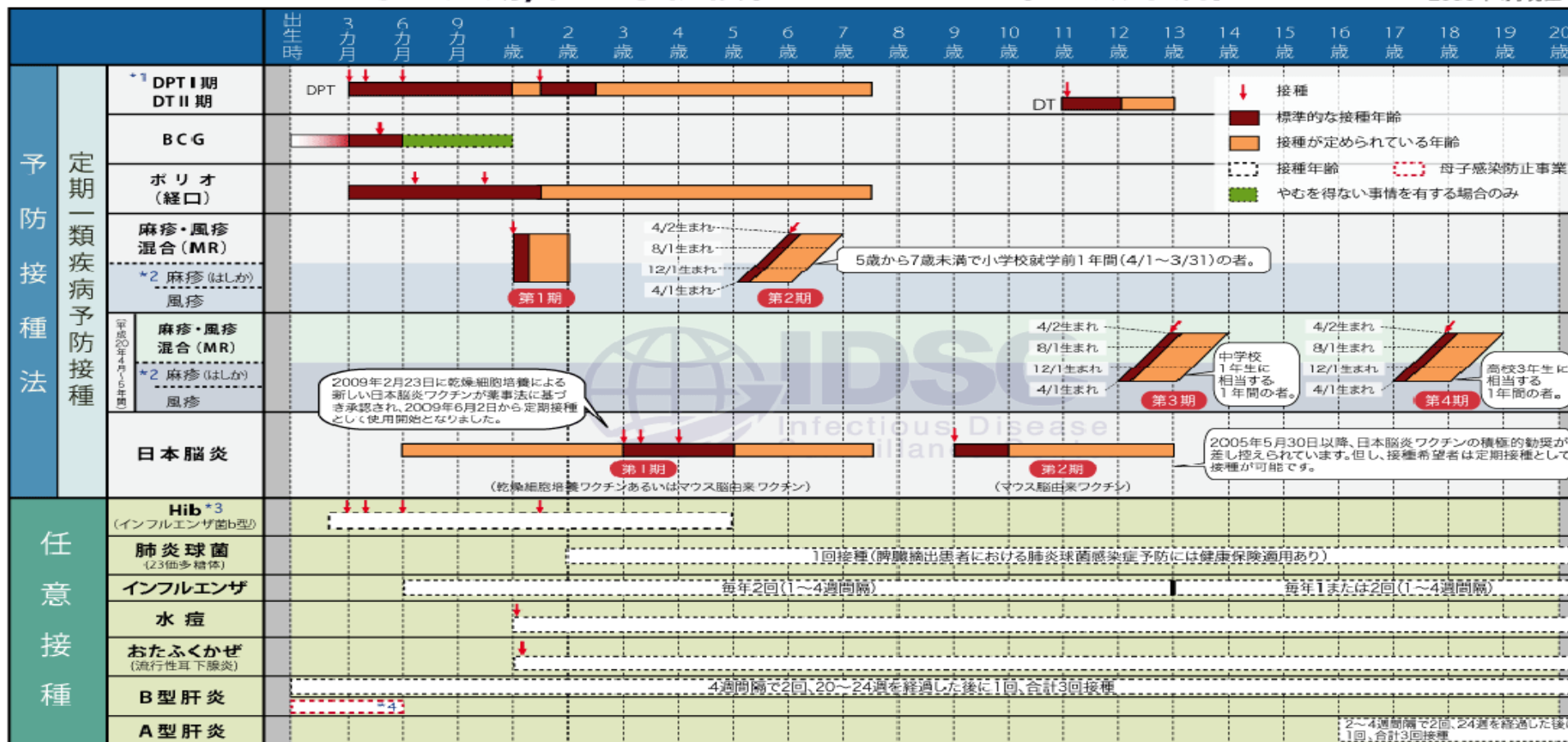
抗体価 ■ ≥1:8 ◆ ≥1:16 ● ≥1:32 ▲ ≥1:64 ✕ ≥1:128 + ≥1:256 ☆ ≥1:512 ✖ ≥1:1024

#1 原則として2008年7～9月に採取された血清を用いた測定結果の2009年4月時点の集計値(暫定値)であり、今後変わる可能性があります。

今しないことが将来の流行に！

- **今、ワクチンを受けなければ、将来かかる日が来ます。**
- **免疫をもっていない人の蓄積は、将来その地域での流行を起こします。**
- **今すぐに、対象者には受けてもらえるよう、一人一人が予防接種の必要性を認識してほしいと思います。**

日本の定期/任意予防接種スケジュール(20歳未満)



*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風を表す。

*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

*3 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2か月以上5歳未満の間にある者に行うが、標準として生後2か月以上7か月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間隔で接種可能)。3回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後7か月以上12か月未満の場合は、通常、4~8週間隔の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間隔で接種可能)。2回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。

*4 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヶ月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種、ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5カ月にHBワクチンを接種する。生後6ヶ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。

麻疹対策技術支援チーム

国立感染症研究所 感染症情報センター(五十音順)

岡部信彦、大日康史、神谷 元、木村博一、佐藤 弘、島田智恵、
菅原民枝、砂川富正、多田有希、谷口清州、多屋馨子、松井珠乃、
安井良則、山下和予、山本久美

国立感染症研究所FETP

国立感染症研究所ウイルス第三部

厚生労働省

文部科学省



緊急情報

はしかにならない！ はしかにさせない！



みんなの力で！！